



那須町と近現代の人々

vol.20



昭和天皇 (1901-1989)

8月号は、昭和天皇の初めての那須行啓について紹介します。

那須町は那須御用邸が存在することから「ロイヤルリゾート」とも呼ばれています。しかし、昭和天皇が初めて現在の那須町域を訪れてから、今年が100年目の節目の年であることは、ほとんどの町民・県民が知らないことかと思えます。

大正12年8月5日、葉山御用邸で御静養中であつた摂政宮(後の昭和天皇)は、逗子駅から汽車に乗り、西那須野駅に到着すると、松方別邸に宿泊しました。この日から摂政宮は松方別邸に9泊しています。松方別邸では愛馬「山吹号」で乗馬を楽しんだとい

います。摂政宮が初めて那須を行啓したのは8月7日のことでした。

た。この日は、ヘルメット帽に赤い靴、白い背広にステッキ姿だったといえます。松方別邸を出発後、10時過ぎに最初の目的地である那須村高久の愛宕山へ赴き「明治天皇御野立所」見学と松の植樹を行いました。この場所は、明治42年に実施された陸軍特別大演習で明治天皇が統監した場所です。

その後11時に新那須温泉山楽に到着すると大勢の村民や三井徳宝(『広報那須』令和4年10月号掲載)から歓迎を受け、那須野が原の景色を眺めながら昼食をとりました。この景色を気に入ったことから那須御用邸の建設に至ったといわれています。

午後、摂政宮は那須温泉神社を参拝し、境内に五葉松を植樹しました。現在もこの五葉松の姿を見る事ができます。その後殺生石を見学し、湖月園で休憩され松方別邸へ戻られました。またこの行啓の際、地元産のお盆2組と鮎が献上されたといひ、行啓が終了すると三井徳宝、那須郡長・紫田四郎、那須村長・渡辺渡が

松方別邸を訪問しお礼を申し上げたといひます。那須御用邸設置の契機となった那須行啓。この出来事がなければ観光地・那須の現在の姿はなかったかもしれませぬ。この日は那須町にとって歴史を変えた大きな1日だったといえるでしょう。(肖像画は個人より提供いただいた。左写真は那須温泉神社にある摂政宮(昭和天皇)お手植えの松)

▼問合せ 那須歴史探訪館
☎74・7007



かつこう



那須ロープウェイ山頂駅に降り立ち、すぐに出口へ向かう。目の前に飛び込んできたのは、真っ青な空に白い雲、灰色の山肌に見える緑色に輝く草木だった。「きれいな気持ちいい」時折吹いてくる風が心地よかった▼先月号で紹介したトレッキングを、思いのほか早く体験することができた。那須中学校の「全校防災&クリーン登

山」だ。生徒たちの列に混ざり、シャッターを切りながら進む。だんだんと傾斜が急になり、土が多かった足場もゴツゴツとした岩場に変化していった。「きつい」ゼーゼーと息が切れ、足が重く感じる。撮影は一旦諦め、登ることに専念した。なんとか山頂にたどり着き、ここでやっと景色を眺める余裕が持てた。「いい風」清々しい空気を体いっぱいに取り込み、自分自身がこの場所と一体になった▼那須岳は、日頃

頃から、様々な自然の恵みを与えてくれている。壮大な眺めや登山、温泉などを楽しめることができる。現在は静穏な那須岳だが、いつかは噴火すると考えられている活火山であることを忘れてはいけない。火山噴火は大きな災害を起こす自然現象だが、噴火の前には様々な前兆現象が起きる。町では、那須岳火山防災マップとハンドブックを作成している。いざという時に落ち着いて行動できるよう、日頃からの準備を心掛けたい。

こんにちは 赤ちゃん



令和4年11月生まれ

たかく そうた
高久 蒼太くん

そうたくんは...

さらお姉ちゃんが大好きな、いつもニコニコしている男の子です

「こんにちは赤ちゃん」コーナーの写真を随時募集しています。詳しくは企画政策課広報広聴係(☎72-6935)まで。

町の世帯と人口 (7月1日現在・住民基本台帳) ()の数字は前月比

・世帯数	10,743世帯 (-1)	出生	5人 (0)
・人口	24,147人 (-39)	死亡	28人 (-15)
	男 12,034人 (-3)	転入	64人 (-32)
	女 12,113人 (-36)	転出	80人 (-4)
		その他	無し

広報那須がスマートフォンなどで読むことができます

